

今月号の目次

カラムディ村からの便り	2
バングラデシュは今	3
今年度の活動を振り返って	4
野芥小、内野小講演会報告	5
NGO福岡ネットワーク報告	
総会お知らせ	6
会計報告／バザーのお知らせ	7
今後のお知らせ	8

2000.3.10 No.81

バングラデシュと 手をつなぐ会

総会 は 4月23日(日)

楽しいさそなっている総会に

さそい合わせて、ご出席を！

ようやく春らしい季節になりました。みなさまお元気ですか？「いよいよ、手をつなぐ会」総会が近づきました。ミロンを讀んだだけではわからないことがきつとあると思います。何でも質問ができる雰囲気きんいキキ。そして自分の意見がえんりよなくありのまま言える総会にしましょう。みんながよくわかってなっとくできまように。バングラデシュに小學校をつくる会「の頃からかかわっている方などぜひ来て下さいね。

お会いできる日を

たのしみに！

(大木松子)



～現地からの便り～

ザムルール・フダ（検査技師）

小学校4年生の時、先生は将来何になりたいかについて作文を書くように言った。私は医者になりたいと書いた。しかし残念なことに、医者になれなかったが、幼い頃の目標を実現できなくても希望を持ち続けた。

私が短大に在学中、兄の娘が重い病気にかかり、輸血をする必要があると医者に診断された。近くに血液銀行がなく、50キロ離れたクシュティアという街に行った。その時に思いついたのは、医者にならなくても、何らかの形で医療活動に携わることができるということだった。

そしてすぐに、あるクリニックで検査技師の研修を始めた。研修を終え、そのクリニックで数年間働いてからションダニに来た。現在ノルジャマン先生と一緒に働いている。

ションダニの診療所はとても田舎に位置している。でも、私たちは検査の面で都会の病院と比べて遅れているとは思わない。現在は評判も高い。しかし検査の分野でも絶えず新しい検査方法が発見されている。私たちの評判を維持するために、それらの方法について勉強や研修を受けなければならない。スタッフの質を高めるために、ションダニにそのような研修を受ける制度があって欲しい。

今回ご紹介した人は、1998年の9月から母子保健センターに、検査技師として勤務されているザムルールさんでした。彼は、奥さんと息子さんとの3人で、母子保健センターの宿舎に住んでいます。

私達が現地に行った時には、奥さんはいつも家の中から恥ずかしげにこちらを眺めていました。そして、まだ就学前の息子さんはとても人なつっこく、私たちの行く場所にはいつも付いてきて、日本人を楽しませてくれました。

私たちの目には、物静かなお父さん、優しいお母さん、素直で可愛い息子さんという、暖かな家庭の姿が映りました。

ションダニの研修制度は、来年度に取り入れて行く予定です。

現地でのこと。朝、目が覚めると2階建の宿舎の屋上に上がり朝食までをのんびりと過ごす。見渡す限り緑色の田畑が続き極上の解放感である。遠くで農夫が白い牛2頭とともに畑を耕しているのが見える。

母子保健センターのすぐ裏に農家があり、牛がグァバの木に繋がれている。サリーを着た女性が盛りだくさんの草をかかえて現れ、手慣れた動作で世話をしている。

村の女性は10代後半になるとほとんどが見合い結婚をする。親の意思で結婚相手が決まるようだ。結婚してからは家の中のことすべてが妻の役目。家事や育児、家族の世話に家畜の世話、住居近くの畑仕事などとても忙しい。隣近所以外は男の人のエスコートがないかぎり外出することができない。これはイスラムの世界での約束ごとである。バザール（市場）は男の世界で売り手と買い手の男達でごったがえす。妻や子は食べものがなくても夫が買って来るのを待っているしかない。村を回って見ても、豊かな土地に恵まれ、食べるのに不自由するとは思えないほどの田園風景がどこまでも続いている。しかし、人口の多さと自然災害のため、食料は慢性的に不足しているのがこの国の現状である。農業従事者一人当たりの耕地面積は0.2ヘクタールなので家族がやっと食べてゆける収穫量だ。しかも雨期には収穫できないところもある。村の女性達にとっても栄養不良は深刻な問題で、生まれてくる子供たちの体重は小さく、早産も多い。無事に生まれても生き続けるのは難しい。母子保健センターでは妊婦検診を無料でしているが、それでも村のすべての妊婦が検診に来れるわけではない。検診に来るためには夫や家族の理解と協力、そのための時間や力車代が必要になるからである。ビタミン剤、鉄剤を無料で提供し、栄養指導も懇切丁寧にしているが、母子保健センターでの分娩は今のところ15%である。他は自宅出産か里帰りをして生む。訓練を受けていない介助者が世話をすることで、知識が乏しく異常の発見が遅れ死亡率は高くなる。八方ふさがりの中にいて出口が見えてこない現状ではあるが、かつての日本もそうであったのだから、現地のナース達が巡回指導を重ねてゆくうちに、少しずつでも明かりが見えてくるにちがいない。その日が早く来ることを祈りつつ協力を続けてゆこう。

1999年度活動内容のまとめ

文責 古賀 南

海外活動

7月19日～8月2日 現地訪問

参加者：大木松子、ラフマン・モクレスール、ニノ坂保喜、高橋かおり（4名）

12月25日～30日 スタディーツアー →飛行機の都合により中止

今年度は現地への訪問者が少なく、またスタディーツアーはやむを得ない事情で中止となりました。村の人々と直に話し合うことが、私たちの活動の基本です。通常は郵便やFAXで報告や相談事を交換していますが、時間もかかり、また十分な意思疎通ができないこともあります。年二回訪問のスタイルは、今後も続けていくつもりです。

国内活動

4月29日 総会 於：ももちパレス

5月13日 第1回定例会 「バングラデシュの行政・政治を知ろう！」 於：早良市民センター

6月10日 第2回定例会 「いのち・開発・NGO」 於：ももちパレス 会議室

7月 8日 10周年記念誌出版記念会 於：プロムナード大手門

8月21日 第3回定例会 「現地訪問団帰国報告会」 於：ももちパレス 会議室

9月12日 第4回定例会 「教育を考える～バングラデシュから日本へ～」 於：あいれふ 研修室

10月3日 バザー 於：西新商店街

11月3日 現地訪問報告会 於：あいれふ 講堂

第1部：クイズで知ろうバングラデシュ！／ラフマンさんのベンガル語講座。

第2部：現地訪問報告会

12月4日 第5回定例会 「いのちを考える講演会」 講演：ニノ坂 保喜 於：ふくふくプラザ

1月30日 スタディーツアー報告会（→中止）

3月12日 バザー（予定） 於：西新商店街

① 定例会

今年度の定例会では、私たちの活動に関連するいろいろな分野のことを勉強していただきました。バングラデシュの国勢、開発や教育等に関する事、「いのち」を考えること、など多岐に渡りました。内容としては概ね好評を頂きましたが、全体的に参加者が少なめでした。来年度は、バングラデシュに限らず少し広い視野でテーマを組み、一般の方にも気軽に参加して頂ける定例会にしたいと思います。

② 10年誌出版記念会

会の10年間の記録と振り返りが、10周年記念誌になりました。会の10年を支えて下さったみなさまへのお披露目とお礼の場として、出版記念パーティーを行いました。会に対するそれぞれの思いが語られ、手をつなぐ会らしい、温かい雰囲気となりました。たくさんのご参加、ありがとうございました！

野芥小学校 PTA・成人教育委員会で講演をしてきました。

二月初旬ということもあり、出席された方は少なめでしたが、講演というより一対数十名の対話方式の2時間で活気あるものでした。

教育につながる話題になり、参加者の方々も真剣に受け止めてくださった様子でした。ビデオ・スライドの紹介によって、更に詳しくバングラの様子が変わって知られた事と思います。以下、その講演会での感想をいただきましたのでご紹介します。（二ノ坂富士子）

バングラデシュの貧しい子供たちの状況を知り、日本の子供たちが改めて、物が豊富にありすぎて、本当に必要とするものを見失いがちになっているなど思う

「教育を受けていることの意味について考えてほしい」という言葉が心に残りました。対話形式の講演会だったので、一方的でなく、いろいろ考えながら聞くことができたと思います。

学びたくても学べない子供たちがいる、毎日を生きていくことが精一杯の人たちがいる、と、分かってはいましたが、こうやって実際に見てこられた先生の話をお聞きして自分達のは…と、考えさせられることが沢山ありました。

「バングラデシュと関わるー国際協力って何だろう？」

内野小学校 PTA 成人教育研修会「地球市民としての私たち」

2月5日（土）14:30～16:00 内野公民館 学習室にて

小学生のお子さんをお持ちのお父さん、お母さん方に、バングラデシュのお話をする機会を頂きました。今回は人権学習の一環ということで、会の活動を通じて思う「国際協力」をテーマにしました。まずバングラデシュ入門クイズでウォーミングアップ、続いてバングラの様子、会の活動、そこで感じたいろいろな事を、スライドを交えてお話ししました。「手をつなぐ会」のことは初めて知ったという方が多く、バングラデシュの様子、教育についてなど、たくさん質問を頂きました。相手が外国人であっても、仲間としての人付き合いであることに変わりはないという想い、うまく伝わったでしょうか。

★ 質疑応答で助けていただいた宇治さん、大木さん、岩切さん、ありがとうございました！

★ 本講演にあたって、内野小成人教育委員長の古藤さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。 報告：古賀 南

NGO福岡ネットワーク 2月の定例会の報告

「体験！総合学習への第一歩」—国際理解を深める教材作りを目指して—

NGO福岡ネットワークでは、学校の先生方に対して、「総合的な学習」の授業作りのヒントとして、子供たちに国際理解への輪を広げていくためのプログラムを企画しました。2月19日(土)、アクロス福岡でのワークショップは、題して「体験！総合学習への第一歩」—国際理解を深める教材作りを目指して—。

今回は、食べ物、ごみ、地球温暖化の3つのテーマについて、クイズ、すごろく等を用いてどんな教材作りをしたらいいのかを考えました。参加者は小・中学校の教師が大半でした。意見としては、「身近なものから授業の展開がもてるものだと思います」「子どもの年齢に合わせて授業のレベルを考えないといけない」「どの方法が一番で正解とはいえない。答えは出ない」「子ども自ら、興味がわき知りたと思う授業とは…」など、さまざまな意見が、時間いっぱいになり広がられました。また、さまざまな教育現場での実際の話も聞いて参考になったようでした。

(高橋 かおり)

2000年度

総会に行こう！

春です。総会です。

毎回足を運んでくださる方も、「最近行ってないわあ」と言われる方も、「初めてけど・・・」という方も、どうぞお越しく下さいませ。

今、カラムディ村はどうなっているのでしょうか。そして、私たちは何をすべきなのでしょう。

会を支えてくださっている多くの人といっしょに、村のことを考えたいと思います。

尚、当日出席できない方は、必ず同封の委任状を事務所までお送り下さい。

とき*4月23日(日) 14時より

ところ*ももちパレス第一研修室

～ 会 計 報 告 ～

いよいよ1999年度の活動も終わりに近付いて参りました。今年度も多くの皆様のご協力によって、一年間の計画を無事に達成しつつあります。現地運営資金も、今年度予算額の全額を送金することができました。

これからもカラムディ村の貧しい人々のために、医療と教育の普及を続けて行くことができますように、お力添えをお願い致します。

尚、会計の詳細についてお知りになりました事や、ご意見のある方は、是非4月の総会にお越しください。

<新会員紹介>

・吉永誠剛

<募金協力者>

・富田佳子 ・渡辺峯 ・杉園順代 ・下田廣子 ・樺島尚子 ・藤田小四郎 ・志岐玲子
・西南幼稚園 ・にのさかクリニック募金箱 ・大穂千鶴子 ・久留米友の会 ・藤美紀子
・尾原悠子 ・池永耐子 ・井上稲子 ・北島弥太郎 ・上野すぎえ ・西南高等学校
・日本キリスト教団調布教会：教会学校 ・日本キリスト教会福岡中部教会：ロバの会
・大浦エミ子 ・牟田シキ ・野田信弘 ・池田すえの ・藤本ツネヨ ・ラフマンモクレスール
・内野小学校PTA ・内野公民館 ・石村基代 ・池田愛美 ・井手喜怒子 ・小澤逸君子
・幸田あけみ ・八木良子 ・瀬良照子 ・武藤暁美 ・江藤治代

<教育募金協力者>

・小田ヨシノ ・福本トミ子 ・村里やよい ・福岡市田隈公民館：識字学級 ・今給黎靖子

<旅費カンパ>

・川西薫 ・畑野めぐみ ・佐藤莞治 (以上、3月6日現在)

みなさま、どうもありがとうございました！ 来年度も引き続き、よろしくお願い致します。

会計担当 岩切篤子

チャリティーバザーのお知らせ

★ 今年最後の国内活動 ★ チャリティーバザーのお知らせです。

日時は… この会報誌が届いてすぐの日曜日：3月12日です。

時間は… 13：00販売開始～16：00までです。

場所は… いつもの西新商店街（5丁目）の一角をお借りしています。

【お原真しい】

毎回人手が不足して困っています。

多くの方お手伝いをお願い致します

今後の予定

日時	活動予定内容	場所
3月11日(土) 13:00~	ハザー用品値段付け	西新事務所
12日(日) 13:00~	チャリティーハザー	西新商店街
16日(木) 19:00~	運営委員会	西新事務所
4月 6日(木) 19:00~	事務局会議	にのさかクリニック
17日(月) 19:00~	総会資料印刷作業	//
20日(木) 19:00~	運営委員会	西新事務所
23日(日) 14:00~	総会	ももちパレス 第1研修室
5月11日(木) 19:00~	事務局会議	にのさかクリニック
15日(月) 19:00~	ミロン印刷	//
18日(木) 13:00~	ミロン発送作業	西新事務所
25日(木) 19:00~	運営委員会	//

※今年度のミロンは、いかがでしたでしょうか？

会の活動の内容や問題点など、常に会員の皆様と共有できるようにと心掛けて参りましたが、一方的な報告に傾いていたのではないかと反省もしています。来年度は、現地の状況や村人の声などを、なるべくお伝えできるように工夫したいと思っています。また皆様のご意見などを、多く取り入れるために、アンケートを取らせていただき、より内容の充実を図って行きたいと考えています。ご協力をお願い致します。
(ミロン担当：岩切篤子)



バングラデシュと手をつなく会

代表 大木松子

〒814-0002 福岡市早良区西新 5-4-20

電話・ファックス：092-844-1369

郵便振込番号 01720-2-10442

加入者名 バングラデシュと手をつなく会